(財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

[月刊]
平成 19 年 7 月 10 日
2007. JUL
Vol. 64

2 優良受注企業紹介
株式会社菅原精機
4 組込み技術研究会の取り組み
戦略的総合支援事業始動
5 総合相談窓口のご案内
展示会商談会への助成
6 岩手県知的所有権センターのご紹介
7 平成19年度6月補正予算のポイント
賛助会員募集
8 ビジネスプラングランプリ告知

毎月勤労統計調査特別調査への協力のお願い

厚生労働省では本年も７月31日現在で常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に標記調査を実施の予定です。小規模事業所における賃金、労働時間及び雇用の動向を明らかにするための大切な調査ですので、調査員がお伺いした際にはよろしくお願いいたします。

調査をお願いする事業所

常用労働者1～4人の事業所

14大産業に属する事業所

［鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）］

調査の内容

年齢、勤続年数、出勤日数、1日の実労働時間数、きまって支給する現金給与額、特別に支払われた現金給与額など

調査の方法

調査に際しては、貴事業所に統計調査員が赴きます。この統計調査員は、各都道府県の知事が任命し、必ず統計調査員証を携帯しています。

調査の流れ

厚生労働省 ← 都道府県 ← 統計調査員（県が任命）

お問合せ先 岩手県総合政策室統計調査課　経済統計担当
電話　019-629-5304

＊この調査の内容が税金の算定や、労働基準法その他の法律に基づく取締りなどに用いられることは絶対にありません。

優良受注企業紹介

世界に誇る「メード・イン・ジャパン」の品質を支えるプレス金型・精密部品を幅広く製作

株式会社 菅原精機

創業が昭和59年7月と伺っております。きっかけは

機械メーカーのサラリーマン当時に、サッシメーカーのYKK東北工場（宮城県）さんに大型設備を入れたりしながらお世話をいただいていました。そこの工場長さんに、会社を起こして協力会社になってくれないか、と頼まれたのがきっかけです。私が30歳の時でした。

工場長さんのお願いというのは、サッシの金型をつくってくれないかと

そうです。サッシ関係は、どうしても金型の刃物がもたないところがあり、よく壊れてしまうんですね。すると生産ラインが止まってしまう。ですから、メンテナンスをふくめて金型全般を協力してほしいと。当時、東北工場はずっと拡大を続けていて、ものすごい規模になっていました。するとそこに入っている生産設備は膨大な量なんです。それが24時間稼働してるわけですから、当然壊れてくる。モデルチェンジもある。サッシ関係の金型関係をやる業者さんがとても少ないこともあり、メーカーさんは困っていた部分があったのです。

会社を起こすといっても設備とか資金とか、当然いろいろ必要になってきますね

悩みました。１カ月ほど時間をもらって、最終的にはやってみようと決断しました。決心してからは、前沢の自宅内に会社を構え、とりあえず基本的な設備を設置しました。資金調達は当然、まだ実績もないものですから苦労しました。最初の設備はリース会社のご協力を得ました。人員の採用でも苦労しました。なかなか経験者を採用できず、結局は養成するかたちになり、私ともう一人で、ほとんど一からのスタートになりました。

軌道に乗せるまでは、どのくらいの期間があり、その間にはどういうことがありましたか

今でも軌道に乗ったという安心した気持ちはないのですが、最初の３年ぐらいはちょっと大変でした。お取引先はYKKさんの１社のみでサッシの金型を製作していたのですが、なかなか応えられるような量もできませんし、むずかしい形状の加工もできませんでした。最小限度の要望に応えながら、信用も築きつつ、毎年設備と人を増やしていきました。

その苦労の3年を過ぎてからは

ちょうど時代はバブル期に入りました。電機関係や車関係など、地元のメーカさんからの仕事が急激に増えました。お客様から、なんとか作ってくれと依頼される時代でした。しかし、無理な受注は避け、高い品質のものを作りつづけることにこだわっておりました。

そのバブルがはじけます

そうですね。バブルが終わるころには、どこのメーカーさんも縮小してきました。それに対応して今度は逆に、こちらからアプローチをしていって、お客様が何を求めているのか、ニーズを探りながらこちら側の設備を選定し、そのニーズに対応できるようにわれわれの技術のレベルアップにも努めていきました。バブルがはじけたあとに大きなメーカーさんのリストラなどがあり、そのことでかえって優秀な技術者を中途採用できるようになりました。

そして現在に至るわけですが、主要生産品目は

民生用、つまり一般向け・家庭用のさまざまな製品の精密金型の設計製作を中心に、治工具、専用機、精密部品の設計製作まで幅広く手がけております。具体的な製品としてはヘッドホンステレオ（ウォークマン）、しぼりの技術が必要な世界的一流ブランド（シャネル）の口紅や香水の容器、電池ケース、ＳＤカード、自動車のリモコンキー、カーナビ装置など。大きなものとしてはコピー機、プリンターなどＯＡ製品の部品、自動車や新幹線のバッテリーの心臓部分の部品など。また、俗にいう超精密関係ですとコネクター端子。これは非常に高速で打ち抜くので、金型のブレが許されない。ですから精度

CNC３次元測定器を使っての品質検査。
全品検査の体制で製品の高い品質を保証している

画像測定器を使用して品質チェック

がものすごく高く、一個あたりの単価を下げるために高速加工も必要です。

御社の特徴、セールスポイントのようなものは

プレス金型においては、形状的な面をいえば端子関係の金型からしぼり金型までほぼ全般、そして材質的な面ではどんな材料でも対応することができます。また、私どもの設備でできる範囲のものなら半導体業界など、幅広くなんでも要請にお応えしております。

こだわりはありますか

金型屋さんは、ふつうは量産をやりますが、当社はやっておりません。基本的にプレス金型に限定しています。量産よりアイテムの数を増やす方向でやっており、実際に広範囲の分野で多品種を手がけております。そして何より品質にこだわって注力しております。私たちの仕事は、すべてが品質ということに集約されると思います。それが最終的にはコスト競争力にもつながってくると思っています。

業界の動向と、それに対する御社の対応は

メーカーさんの海外移管による現地生産化が、ますます強化されています。その中で当社が受注していくものは、技術的に東南アジアで対応しきれない高いレベルのものと認識しています。また、国内においては、メーカーさんは集約化を進めております。これまでお付き合いのあった事業所さんも他の場所に移動していく可能性があります。さらに事業本部さんの方針で、アイテムがすぐ変わってしまうこともあります。ですから、幅広い分野のものに対応できる能力がなければなりません。これについては、すでにいろいろなものを手がけてまいりました。

最後に今後の目標や夢などは

実は当社では、まったく自社製品がないというわけではないんです。まだ公開できないんですが、共同で開発を進めている製品もあります。それが一つと、お客様から『いい品物をつくってくれる』『これができるんだったら、ああいうものもできるんじゃないか』と、判断していただける会社であり続けることだと思います。つまり高い品質の製品をつくることができるハイレベルな技術を持っていることが大事だと思います。そのため当社では、高い技術を継承していくために、各部署に50代、40代、30代という人員配置をしており、そこに現在は20代を投入しています。その高い意識と技術力で、われわれが活躍できる場所をますます増やし、地元に貢献していけたらいいと思っております。

「量産よりも、一つひとつ高い品質の製品をつくり続けていくことにこだわりたい」菅原博幸社長

企業概要

創業	昭和59年7月
代表者	菅原博幸
所在地	奥州市前沢区本杉136番地1
電話番号	0197−56−7200
FAX番号	0197−56−7204
E-mail	ssseiki@rose.ocn.ne.jp
資本金	2000万円
従業員数	26名
事業内容	民生品、OA関連、化粧品、自動車、サッシ関連等のプレス金型を中心に、治工具および精密部品の製作
主要取引先	YKK、トステム、日立メディアエレクトロニクス、小田原エンジニアリングほか多数
設備・機械	CNC3次元測定器、画像測定器、マシニングセンター、NCフライス盤、ワイヤー放電加工機、放電加工機、細穴放電加工機、恒温室、ターレットフライス盤、横フライス盤、縦フライス盤、平面研削盤、成形研削盤、旋盤、電気炉、パワープレス、設計CAD、2.5次元CAD／CAM、3次元CAD／CAM、2次元CAD／CAM、工具顕微鏡、精密万能投影機、ブロックゲージ～ピンゲージ

組込み技術研究会の取り組みについて

岩手県では地域IT産業の「県外市場へのシフトによる売上拡大」を促進するため、平成18年度から「戦略的IT産業強化育成プロジェクト」をスタートしています。このプロジェクトは組込み技術に関する①産学官ネットワークの形成（**組込み技術研究会**）、②受発注の取引あっせん・情報提供、③組込み技術者の育成を推進しているものです。（①と②をセンターが担当しています）

本県では、岩手県立大学を始め、多くの教育研究機関が組込み技術に関連する分野の人材育成に取り組んでいることから、本県全体の組込み技術の競争力強化を図ることを目的として、昨年10月、「**組込み技術研究会**」を設立しました。

会長には岩手県立大学 組込技術研究所の曽我正和所長が就任し、事務局をセンターが担当しています。IT関連企業20社をはじめ、産学官の実務者が参加する実働的なネットワークとして活動しています。18年度は「移動体通信の動向」、「首都圏企業による案件説明会」、「デジタル回路設計CAD講習会」等を開催しました。

組込み技術研究会への入会は随時受付し、参加料は無料です。

今後は、「ものづくりとITとの連携・融合」を目的として、電子系ものづくり企業への参加を求めながら、参加者相互の情報交流、技術・市場動向の情報共有、技術開発など連携体の形成促進、人材育成の仕組み検討などを積極的に進めていく方針です。

【お問い合わせ先】育成支援グループ：019-631-3822

戦略的総合支援事業がいよいよ始動

昨年度から実施しているこの事業は、全国を視野に事業拡大を図ろうとする企業や地域の産業を牽引する成長意欲を持つ企業を総合的･組織的に支援し、育成しようとするものです。

昨年度は6社を対象に実施しましたが、本年度は最終的に申請のあった11社についてヒアリングを行い、外部の審査委員会で事業目標、事業計画、社内体制、センターの支援の必要性･支援の効果、財務状況等について慎重に審査を行った結果、3社に絞り込んで濃密に実施することにしました。

選定された3社の概要は右のとおりですが、昨年度からの継続が2社、新規1社です。

3社につきましては、今後、各社ごとに支援チームを編成し、事業目標、支援目標を明確にし、支援計画を立てた上で必要に応じ外部支援スタッフを投入しながらセンターのあらゆる支援ツールを駆使して支援していくことになります。

企業にとっても何かと大変とは思いますが、成果が出るよう最後までがんばっていただきたいと思います。各社の進捗状況や成果については今後も随時お知らせしたいと思いますのでご期待ください。なお、本年度は再募集の予定がありませんが、来年度挑戦したいと思う方は早めに準備されたほうが良いと思いますのでセンター･総合支援グループまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】総合支援グループ：019-631-3826

対象企業のプロフィール等（注：申請時）

企業名 小野食品（株）　［継　続］
代表者名 小野昭男
所在地 釜石市両石町4-24-7
電話番号 0193-23-4675
資本金 44,000千円
従業員数 77人
業務内容 調味冷凍食品の製造、販売
（焼き魚、煮魚、調味切身、和風総菜）
今回のテーマ：三陸産の新鮮な原料を活用した水産調理品の自社ブランドシリーズの販路開拓、販路拡大

企業名 （株）エヅリコエンジニアリング　［新　規］
代表者名 菊池公二郎
所在地 北上市滑田20地割111-1
電話番号 0197-77-2666
資本金 10,000千円
従業員数 52人
業務内容 電力機器、工作機械等大手メーカーの１次下請け
（設計、板金、塗装及び組み立て品を製造）
今回のテーマ：設計から精密板金･組み立てまでの「提案型高付加価値製品の一貫生産体制」の構築による販路拡大

企業名 （株）マーマ食品　［継　続］
代表者名 伊藤恒利
所在地 花巻市桜町4丁目241-2
電話番号 0198-24-6811
資本金 10,000千円
従業員数 61人
業務内容 業務用総菜製造（和惣菜、中華キット、おこわ）、米飯製造（学校給食等）
おからこんにゃくの製造販売
今回のテーマ：おからこんにゃくの全国的販売、おからこんにゃくの総菜製品の開発、肉売り場での販売製品の開発、アメリカ市場への販売

経営のお悩みごとなら何でもご相談ください

センターでは、創業・起業から経営全般にわたるのいろいろな相談にワンストップで対応できるよう、総合相談窓口を設置しております。職員3名が窓口となり、5月号でもご紹介しました3名のコーディネーターと相談に応じております。3名のプロフィールは右のとおりです。経営全般から、生産性向上、人材育成、販売戦略等それぞれご専門の分野をお持ちの方々です。また、センターには他にもたくさんのコーディネーターがおられます（詳細は5月号）ので、必要に応じてその方々からアドバイスをいただくこともできますし、場合によっては他の機関や、その道の専門の方をご紹介することもできます。

経営のことで何かご相談がありましたなら、まずは総合支援グループまでご連絡ください。来所または電話、ファックス、メール、何でも受け付けております。ご都合がつかない方にはこちらから出向くこともできますので、どうぞお気軽にご利用ください。お待ちしております。

TEL. 019-631-3826　FAX. 019-631-3830
E-mail　joho@joho-iwate.or.jp

佐々木　貢コーディネーター

主な略歴：東北ニチイ㈱、㈲露崎調査設計、学校法人盛岡情報ビジネス専門学校を経てセンターのプロジェクトマネージャー（H12）、サブマネージャー等（H15～現在）を歴任、現在佐々木貢中小企業診断士事務所代表

主な指導分野：情報化指導、経営計画策定指導、経営安定化指導、創業指導。経営全般について、財務、労務、販売等幅広くアドバイス

資格等：中小企業診断士

草野　悟コーディネーター

主な略歴：㈱新和商事、㈱旭通信社入社・㈱アサツーディ・ケイ（社名変更）東北支社長、本社営業総括プロジェクト推進局局長を歴任し退職、現在に至る

主な指導分野：岩手県内での業務履歴では三陸海の博覧会、全国菓子大博覧会岩手大会、宮澤賢治生誕100年事業をはじめ、イオン盛岡南ショッピングセンター「結いの市」等をプロデュース。「起業家・後継者育成塾」（センター事業）では販売力を高める講義を担当

髙橋 清美コーディネーター

主な略歴：ソニー宮城㈱経営企画部、情報システム部、ソニー㈱技術教育センターを経て現在㈱イーノス代表取締役副社長

主な指導分野：生産性向上の診断と改善（生産性向上にかかわる全般）経営革新・生産革新・IEツール指導・人材育成・マネジメントの仕組み構築・情報システム・工場建設など

資格等：IEインストラクター、ISO内部監査員（品質・環境）

展示会商談会の小間料を助成しています

自社製品や独自の技術を持ち、取引の拡大を目指して全国規模の展示会等へ出展しようとする県内中小企業の方に対して、センターでは小間代を助成し、出展支援を行っています。既に先月号でご紹介しましたとおり、6月27～29日に東京ビックサイトで開催された国内最大級の展示会・「機械要素技術展」には岩手県ブースを設け、11社の協同出展を支援したところです。今年度はさらに関東地区で開催される見本市、展示会等へ出展を希望される企業に対して小間代の一部又は全部（上限1社30万円・対象4社程度）を支援することにしておりますので現在、出展を検討されている方は、対象になるか等についてセンター・育成支援グループまでお問い合せください。先着順受付となります。

（詳しくはセンターのホームページをご覧ください。）

首都圏で開催される展示会について

企業の方々がよく参加している首都圏の展示会（今回は東京・ビックサイト【B】と千葉・幕張メッセ【M】の7月下旬以降11月までに開催・一般参加可のもの）をピックアップしてみました。

なお、12月以降についてはまだ確定されていませんが、

- ENEX地球・環境とエネルギーの総合展（2月初・【B】）
- 国際ナノテクノロジー展（2月下旬・【B】）
- スーパーマーケットトレードショー（2月下旬・【B】）
- JAPAN SHOP（3月初・【B】）
- FOODEX JAPAN（3月中旬・【M】）

等々有力なイベントが目白押しです。他にも業種やテーマを特定したイベントがたくさんあります。日時、会場等を確認し、情報収集されて参加されることをお勧めします。

会等名	開催期間	料金	主催	内容
CEATEC JAPAN	10/2～6	1,000円（事前登録で無料）	（社）電子情報技術産業協会他	IT・エレクトロニクス産業を牽引するアジア最大の総合展示会
ダイレクトマーケティングフェア	10/10～11	500円	同フェア実行委員会	通信販売・訪問販売事業者を対象とした展示会
東京ビジネスサミット	10/22～23	2,000円（事前登録で無料）	同サミット実行委員会	全国のアイデアあふれる新商品や新サービス、画期的な新ビジネス、研究成果の提案
産業交流展	10/25～26	無料	同交流展実行委員会	首都圏の中小企業の優れた技術、製品、サービスを一堂に展示。国内最大級の総合見本市
中小企業総合展	10/31～11/2	無料	（独）中小企業基盤整備機構	日本最大級の中小企業ビジネスマッチングイベント。市場創出と販路開拓による中小企業の経営革新の促進

岩手県知的所有権センターのご紹介

「知的所有権センター」は各都道府県が地域の産業実態に則して的確な特許情報を効率かつ積極的に提供していくとともに、その検索方法や活用方法の支援・相談を行う地域の中核機関です。
岩手県知的所有権センターでは、下記に紹介する支援のほか、産業財産権に関する各種サービスを行っておりますので、積極的にご活用ください。

特許情報活用支援　～特許情報活用支援アドバイザーによる支援～

特許情報活用支援アドバイザー　中嶋　孝弘（TEL：019-656-4114　FAX：019-631-1010）

○こんな時にご相談ください

・無駄な出願を抑えたい
・特許や商標等の検索方法を知りたい
・特許情報の加工・分析をしてみたい
・重複した研究開発を避けたい
・他人の特許権や商標権等の権利を侵害しないようにしたい
・最新の技術情報やライバル企業の開発状況が知りたい
・公報の読み方が知りたい

支援内容

●産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）情報の調査、加工・分析の支援
●特許電子図書館（IPDL）の利用方法の支援
●海外特許情報調査の支援
●産業財産権情報を活用した技術・商品開発や権利取得・管理業務の支援

特許流通支援　～特許流通アドバイザーによる支援～

特許流通アドバイザー　千葉　広喜（TEL：019-635-8182　FAX：019-631-1010）

○こんな時にご相談ください

技術導入、技術提供、技術提携、販売提携、共同研究開発等をしたいが…
・相手がなかなか見つからない
・必要な技術がなかなか見つからない
・交渉の進め方や契約書の作り方が難しい
・大企業相手で直接交渉に不安がある
・大学・公設試験機関等の力を借りたいが方法が分からない
・知的財産や契約に関する法律的なことが知りたい

支援内容

●全国の特許流通アドバイザーのネットワークによる特許シーズや技術ニーズ、ライセンス先の情報提供
●特許実施契約等の交渉の支援
●特許流通データベースへの登録、特許流通フェアへの出展支援による技術・商品のPR

いわて知的財産権セミナー 2007

知的財産の普及及び知的財産の保護と活用を促進するため、昨年に引き続き「いわて知的財産権セミナー」を開催します。お問い合わせ・申込みはいわて産業振興センター（TEL：019-631-3827）又は岩手県工業技術センター（TEL：019-635-1115）まで（受講料無料）

講座名		対象者	講　師	場　所	開催日	講義時間
経営者セミナー 経営者向け知的財産活用		経営者・実務者	大津洋夫弁理士	工業技術センター	7月27日	13：30～15：30
			千葉アドバイザー			15：40～16：30
			井上一弁理士		8月　3日	13：30～15：30
			経営者【選定中】			15：40～16：30
初級セミナー 知的財産権基礎		初級者及び市町村・商工団体職員等	平山一幸弁理士	工業技術センター	8月24日	13：30～16：30
			保立浩一弁理士		8月31日	
中級セミナー	特許侵害訴訟対策	研究開発者・実務者	永井義久弁理士	工業技術センター	9月21日	13：30～17：00
	特許請求の範囲、明細書作成の留意点		船越巧子弁理士		10月　5日	
					10月19日	
	デザイン戦略 ～意匠権の活用法～		菅原修弁理士		11月　2日	
	商標係争の実務 ～警告の出し方受け方～		松田治躬弁理士		11月16日	
	著作権の概要と企業活動上の留意点	初級者～実務者	佐藤祐介弁理士		11月30日	
特許流通セミナー 特許流通基礎		初級者	千葉アドバイザー	県内各地	未定（同日開催）	未定
特許情報活用セミナー	知的財産の基礎知識とその活用方法	初級者	中嶋アドバイザー	県内各地		未定
	演習（初級）	初級者	中嶋アドバイザー	県内各地	未定	未定
	演習（中級）	IPDL経験者	中嶋アドバイザー	盛岡近郊	未定	未定

～岩手県知的所有権センターのご利用案内～

○**所 在 地**　〒020-0852　岩手県盛岡市飯岡新田3-35-2（工業技術センター2階）
○**開館時間**　午前8:30～午後5:15　　○**休 館 日**　土・日曜日、祝祭日、休日、年末年始
○**利 用 料**　閲覧、相談は無料　※ご来所の前に電話にてご連絡ください。

～県商工労働観光部の平成19年度６月補正予算のポイント～

県は、このたび平成19年度６月補正予算を編成しました。今年度は知事選のため、当初予算は骨格予算でしたが、今回の補正予算は「肉付け予算」として新規事業や政策的な経費等を中心に編成されたものです。

県商工労働観光部の６月補正予算額は約94億8,900万円、補正後の予算総額は約585億2,500万円〈一般会計〉（対前年当初比 106.6％）となっています。人口減少社会や地域間競争の中で、本県産業の力強い成長を実現するため、「産業成長戦略」の着実な推進により、いわての資源や潜在する力を活かした経済的な自立の基盤づくりを進めます。

今回の補正予算では、県北地域の産業振興を図るためのワンストップの産業支援機能整備や「いわて希望ファンド（仮称）」の創設などが、センターに関係するものとして盛り込まれています。

６月補正予算の詳細については、県商工企画室企画担当（TEL019-629-5530）までお問い合わせください。なお、センターに関係する事業については本誌で随時お知らせしていく予定です。

商工労働観光部 平成19年度６月補正予算のポイント

単位：百万円 6月補正額（6月現計額）

ポイント1 「産業成長戦略」の着実な推進

本県が強みとする産業や潜在力の高い産業を重点的に支援し本県産業全体の成長を目指します

産業集積の促進	半導体関連産業創出推進事業費	新規（当初）	12.0（15.1）
	企業立地促進奨励事業費補助	継続	307.0（517.3）
平泉の世界遺産登録	未知の奥・平泉観光振興事業費	継続	14.5（15.5）

ポイント2 県北・沿岸圏域における産業振興

県北・沿岸地域に潜在する資源を掘り起こし、その付加価値を高める取り組みを強化します

県北・沿岸地域観光力強化支援事業費	新規（当初）	10.8（15.4）
県北・沿岸地域食産業成長戦略事業費	新規（当初）	11.2（13.7）
県北地域産業支援強化事業費補助	新規（6月）	1.9（1.9）

ポイント3 様々な課題への対応（中心市街地活性化・雇用対策）

中心市街地活性化や雇用対策など様々な課題への対応を進めます

自律的まちづくりモデル創出支援事業費	新規（6月）	7.4（7.4）
チャレンジド就業支援事業費（能力開発）	継続	10.8（27.1）

ポイント4 いわて希望ファンド（仮称）の創設

中小企業基盤整備機構の事業を活用し、総額50億円のファンドを組成し、その運用益により、起業・創業や中心市街地活性化の取組みを支援します

いわて希望ファンド（仮称）組成・推進事業費【運営管理者】㈶いわて産業振興センター	新規（6月）	4,501.6（4,501.6）

センターの賛助会員を募集しています

支援します。支援下さい。

現在センターでは、センター事業の一層の充実を図り、皆様のニーズに応じた支援を行うことを目的に賛助会員を募集しています。事業目的にご賛同いただき、ご加入いただきますようお願い申し上げます。

会員の特典

定期広報誌の提供

中小企業経営に役立つホットな情報を満載した「産業情報いわて」を毎月１回提供します

中小企業施策情報を随時提供

岩手県の商工施策を満載した「岩手県商工施策利用ガイドブック」のほか、希望者には、メールマガジンで国や各支援機関等での中小企業施策情報を随時提供します

ホームページの広報支援

貴社のホームページをセンターホームページへリンク（※）または掲載して支援します

（※）センターのホームページにリンクすることにより検索エンジン（Google）で貴社のホームページが上位に表示されヒット率が高まります

経営に役立つビデオ・図書の無料貸出

社内研修用ビデオ・企業経営ビデオ（約 1,600 巻）及び経営図書（約 380 冊）を無料で貸し出しします

企業信用情報の提供

東京商工リサーチ等の企業信用情報データを代行検索のうえ割引（※）して提供します

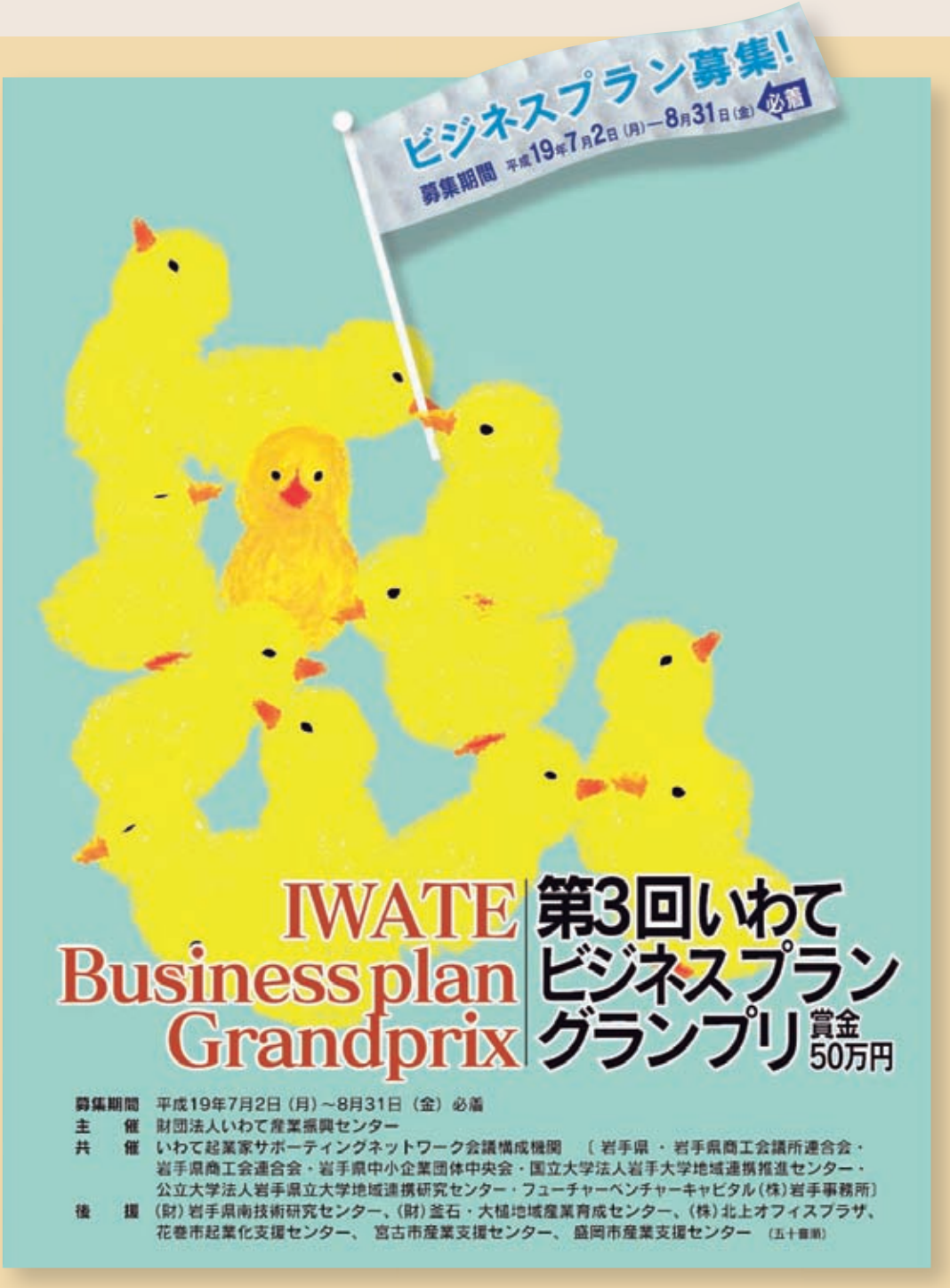
（※）1,260 円／件を 630 円／件で提供（但し、代行検索の件数は 15 件／年を限度とします）

いわてものづくりアカデミー受講料割引

センターで実施している研修「いわてものづくりアカデミー」の受講料が約 20%引きとなります

会　費　年会費　１口当たり　20,000円

申込方法及び問い合わせ先　㈶いわて産業振興センター　総務・金融グループ　TEL 019-631-3820　FAX 019-631-3830
URL http://www.joho-iwate.or.jp　E-mail joho-iwate.or.jp



スタッフから ひと言

情報の先取りこそ企業経営の安定化の第一歩！

センターでは、受発注取引の相談を受けて、職員が各種情報提供を行っております。

その中で苦労しますのが、今日の仕事が無くなってから駆け込んでくる企業の方があります。日頃、県内中小企業の方々とお付き合いしておりますと情報を先取りし安定した受注量を維持している企業とそうでない企業との差が経営の総合力の差としてはっきりと出てまいります。

当たり前のことですが経済環境は日々変化し、その変化を先取りする事こそが、受注量・経営全般の安定化に結びつく第一歩ではないでしょうか。

センターでは、年間発注企業1万社を対象に調査し、発注情報を企業の皆様に提供しておりますが、発注案件も即陳腐化します。新しい情報は常に動いております。

是非、センターにお来し頂き育成支援グループで最新の受発注情報を収集されることをお勧めします。お待ちしております。

育成支援グループリーダー　飯倉善明

産業情報いわて
2007年7月10日（毎月10日発行）
発　行　（財）いわて産業振興センター
〒020-0852　盛岡市飯岡新田3-35-2（岩手県先端科学技術研究センター2階）
TEL.019(631)3826　FAX.019(631)3830
E-mail joho@joho-iwate.or.jp　URL http://www.joho-iwate.or.jp/
編集印刷　川口印刷工業株式会社